

授業科目名 <英訳>		保健・医療の経済評価 Economic Evaluation in Health Care			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 今中 雄一 医学研究科 特定講師 佐々木 典子 医学研究科 特定講師 國澤 進 医学研究科 助教 大坪 徹也				
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2016・ 前期前半	曜時限	水3	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療における経済評価を支える理論・フレームワークについての講義を行い、保健・医療の経済性評価のための主な研究手法を学習します。 ・保健・医療の経済評価は、通常、現実的な制約の中で評価をすることになりますが、その際の研究のあり方についても学習します。 ・保健・医療に関する幅広いテーマの経済評価の検討を行います。 											
[到達目標]											
<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療における経済評価を支える理論・フレームワークや研究方法等について、重要事項を説明できる。 ・医療の経済評価研究に関するバイアスについて理解している。 ・治療技術・薬剤・医療材料・検査・健康政策プログラムなどに関する経済分析に用いられる主な研究手法として、費用分析・費用効果分析・費用効用分析・費用便益分析の違いやそれぞれの適応、費用算定・アウトカム測定・時間の概念・割引率・感度分析、増分費用効果比といった中心的な概念を理解して説明でき、分析結果の適切な解釈ができる。 ・上記を踏まえてこの領域の研究文献を批判的にレビューし、その意義を説明できる。研究プロトコルの作成や研究実施時に、習得した知識・技術を活用できる。 											
[授業計画と内容]											
第1回 4月13日 保健・医療における経済性の評価（1） 第2回 4月20日 保健・医療における経済性の評価（2） 第3回 4月27日 医療経済評価研究の評価法 第4回 5月11日 費用効果/効用分析の方法論1 第5回 5月18日 経済評価のモデリング 第6回 5月25日 費用効果/効用分析の方法論2 第7回 6月1日 保健・医療の経済評価：論文レビュー&討議1 第8回 6月8日 保健・医療の経済評価：論文レビュー&討議2 * 医学部生チュートリアル、外部講師他の諸状況により日程変更あります。初回に予定を説明します。											
[履修要件]											
非MCR限定 人間健康科学系専攻学生の受講可否：否											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
講義・討論・グループワーク・発表におけるコミットメント（配分30%）、課題レポート・期末な											
保健・医療の経済評価(2)へ続く↓↓↓											

保健・医療の経済評価(2)

どのレポート（配分70%）により、総合的に評価する。

[教科書]

適宜、資料を講義にて配布する

[参考書等]

(参考書)

- ・ Drummond MF, et al. Methods for the Economic Evaluation of Health Care Programmes, 3rd Ed. Oxford, 2005.
- ・ Myriam Hunink. Decision Making in Health and Medicine: Integrating Evidence and Values. Cambridge, 2001.
- ・ 医療制度・医療政策・医療経済（丸善出版,2013）
- ・ Handbook of Health Services Research（Springer Science+Business Media）

[授業外学習（予習・復習）等]

予習・復習は必要

(その他（オフィスアワー等）)

経済学の学習経験は問いません。

当分野では医療の経済性、質・安全・原価の実証研究政策研究、医療の政策や経営に深く関わりたい人を募っています。（医療経済学分野：<http://med-econ.umin.ac.jp>）

注) 医療のプロセス、アウトカム等の質指標、診療のばらつき、医療の質の評価・改善、医療機能評価、医療の質・安全に係わる制度・政策については、水曜3限「医療の質評価」(前期後半) (1単位) (MCR推奨選択・コア選択必修)を選択してください。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。